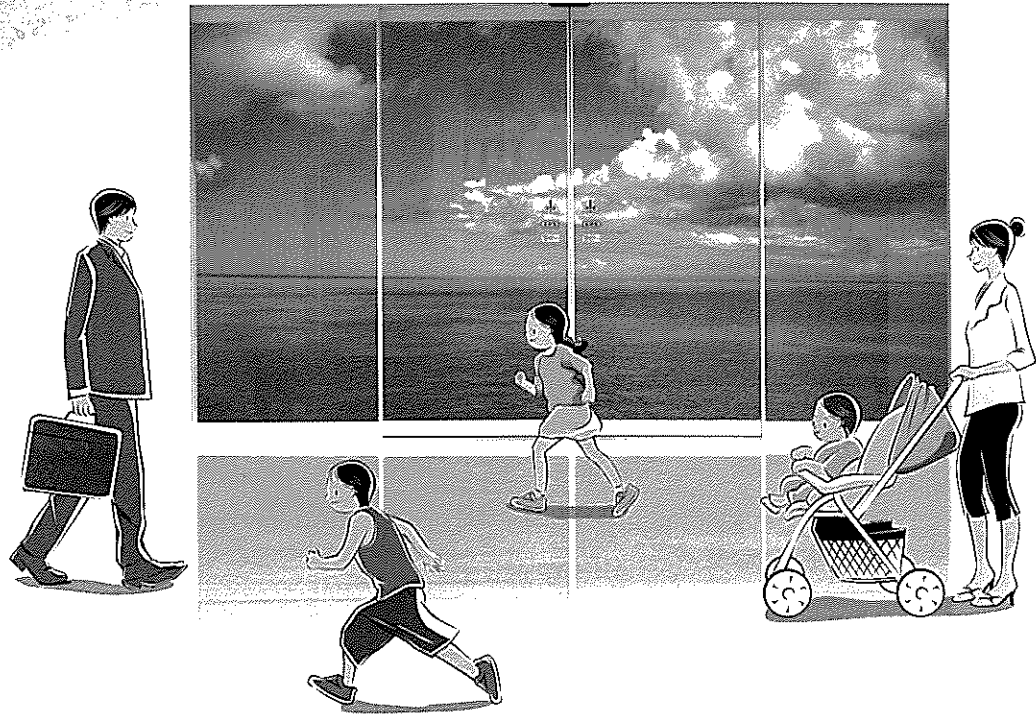


Nabtesco

さあ、  
これからの"だれでもドア"を  
つくろう。



# ナブコ自動ドア

東日本地区販売会社 ▶ ナブコシステム株式会社 ☎(03) 3593-0181  
<http://www.nabcosystem.co.jp/>

西日本地区販売会社 ▶ ナブコドア株式会社 ☎(06) 6532-5841  
<http://www.nabco-door.co.jp/>

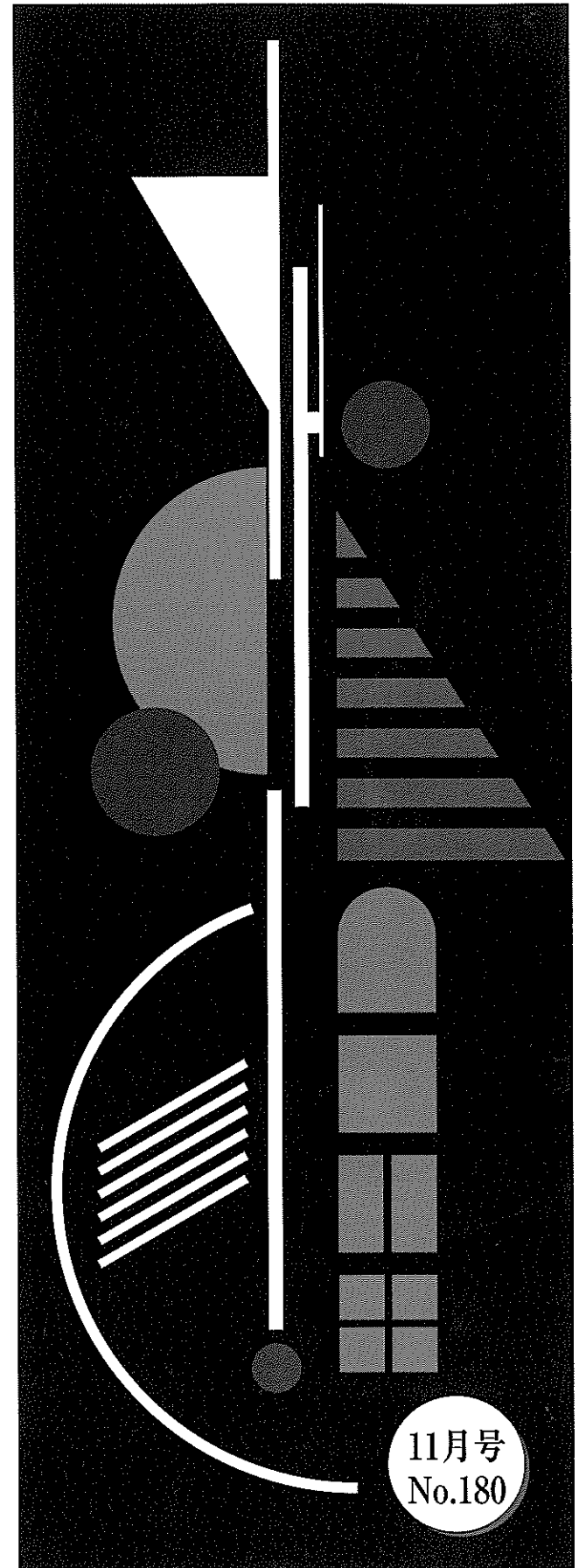
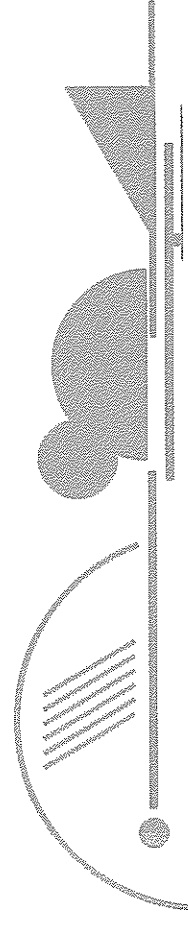
九州地区販売会社 ▶ オリエント産業株式会社 ☎(092) 781-7563  
<http://www.orient-sangyo.co.jp/>

製造元  
ナブテスコ株式会社  
住環境カンパニー  
<http://nabco.nabtesco.com>

# 月刊 建材 ナビ Navi

特集ビルファサード・エントランスの高意匠・高機能化を進めるステンレスサッシ・フロント市場

特集高意匠・高機能・高耐候の外装材の拡大に取り組む窯業系外装材／外装タイル／金属サイディング



11月号  
No.180

元旦ビューティ工業

省施工・短工期の新縦葺き屋根「元旦TRX 6型」、  
バックギング工法「本瓦棒元旦'84 チタン」、ソー  
ラーパネル取付金具「ハゼ式折板アルミ金具」発売

元旦ビューティ工業（船木亮亮社長）は9月30日、東京・KKRホテル東京で第12回全国元旦会長会・懇親会ならびに新製品発表会を開催した。

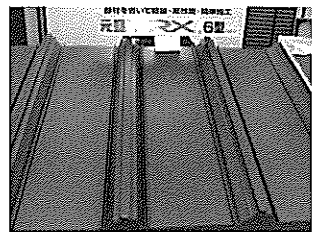


新製品発表会の冒頭、船木元旦会長は、「今回、最高の技術で日本一安い屋根をつくった。

皆さんが利益を取れて経営を安定させることが出来る新製品だから、安売りののでは何の意味もない。どんなに忙しくても利益を生まないと、後継者もできない。世の中になくものを営業していかないと、適正な価格も取れませんよ。その意味では今回の新製品で独自の営業を行ってください。職人が足りないといわれる、今こそ生まれかわるチャンスだ」と人手不足に対応した新製品の意義を力説した。

屋根本体に山を設けた新形状で従来の2倍以上の耐風圧強度を実現

◆新縦葺き屋根「元旦TRX 6型」(特許多数出願済み)の特長  
①簡易施工・工期短縮：人手不足に対応し施工スピードが早い。同時に簡単に取り外せるからメンテナンスも楽にできる。②高气密・高防水：屋根本体に山を設けた形状を採用し、強風で吹き付ける雨をブロックする構



造。嵌合する上の屋根材がキャップの役目をはたし雨水の内部への侵入を防止する。③寒冷地のすがもり対策：バックギングとビス締め(屋根外部で固定)により、気密性が高く融雪水の内部への侵入を完璧にふせぐ寒冷地仕様。④正圧・積雪に強い、負圧・台風に強い：従来の2倍以上の耐風圧性能を発揮する4点嵌合固定工法。⑤後からソーラーパネルを簡単に設置可能：PV架台が不要で屋根に直接固定できる。ビスは屋根外部で固定され、雨水が内部に侵入しない工法。低価格・短工期でソーラー屋根を実現。

屋根施工用の足場経費を大幅に削減し安全な「バックギング工法」採用

◆「本瓦棒元旦'84 チタン」  
—最近の施工例：「本願寺鹿児島別院改修工事」(本堂2824㎡・会館438㎡)。特長は、35年の実績と信頼に裏付けられた屋根を上から下へ施工する「バックギング工法」の採用。そのメリットは、施工済み屋根を踏まないで、汚さない・傷つけない、神・仏土足で屋根を踏まない施工を実

現。施工中の火山灰の侵入を軽減する。屋根施工用の足場経費を大幅に削減し、非常に安全な姿勢で作業できる。

日本瓦の風合いをもつチタン瓦は、本瓦の約14分の1と軽量で耐震性に優れているほか、魅せる屋根としての直線美・曲線美を実現。「バックギング工法」は、「ビューティーフしらがみ」(密着しらがみジョイント採用の経済的な横葺き屋根)、「ダンカク260」などに対応。

ソーラーパネル取付金具・一発締め固定「ハゼ式折板アルミ金具」発売



◆元旦ソーラーパネル取付金具シリーズ「ハゼ式折板アルミ金具」  
—強い・錆びない・軽いアルミ押出型材を採用。丸(角)ハゼにがっちり食い込み、一発締め固定が可能な施工性のよさが特長。「元旦ソーラーパネル取付金具シリーズ」は、2012年度108万個を販売、今年上半年も90万個と高い成長を堅持する。ハゼ式折板屋根用をはじめ、重ね式折板屋根用、瓦棒屋根用、立平葺き屋根用の豊富なバリエーションが特長。

◆関連製品の雪止め機能+空気流動システム「元旦ウイング」(特許多数出願済み) —新屋根置き型ソーラー工法。「元旦ウイング」のもつ換気機能により、モジュール裏面の高温空気を外部に排出し、モジュール温度上昇による発電低下を抑制する効果。

YKK AP

EX 施工フォトコンペで YKKAP 大賞を熊本市の「櫛タケウチ」受賞

YKK AP(堀秀充社長)は、第3回「エクステリアデザイン施工フォトコンテスト」への応募1549件の中から、YKKAP大賞の熊本市「株式会社タケウチ」(使用商品：リレーリア、カスタマイズパーツ、リウッドデッキ200、キャラメルチーク色)をはじめ、5部門39作品を選出した。



YKKAP大賞

同コンテストは、「住まいの顔であるエクステリアを通して、家族をもっと幸せにしたい、日本をもっと元気にしたい」との願いをこめて行なわれた。応募は門・車庫まわり、窓・庭まわり・エクステリアリフォーム、プロモーションデザイン、ファミリーの各部門。

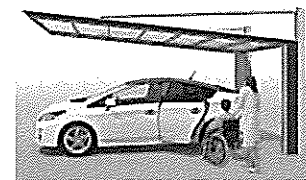
YKKAP大賞の受賞作品について、審査委員は「リレーリアを空間の真ん中に設置し、そこですごされる家族の楽しみ方、時間のすごし方が想像される。金物や商品・壁や床の装飾・色彩・植物にいたるまでしっかりと空間の意味が施された理由が見受けられることを高く評価した」とコメントする。

金賞は、門・車庫まわり部門「株式会社ファミリーエクステリア

(三重県津市)、窓・庭まわり部門「株式会社エクスプレイス」(奈良県葛城市)、エクステリアリフォーム部門「有限会社エフ・エー建設工業」(高知市)がそれぞれ受賞した。

四国化成工業

「マイポートNext」  
2013年度グッドデザイン賞受賞、従来のカーポートにはない存在感



四国化成工業(山下矩仁彦会長・CEO)は、「マイポートNext」で2013年度グッドデザイン賞を受賞した。

「マイポートNext」は、業界初の最後端支柱カーポートで、スタイリッシュなデザインと車の出し入れ、乗降のしやすさが人気の大きな理由。シャープな印象のステンカラーの本体に、自分らしさを演出できる木調カラー5色とビビッドカラー4色から選択できる。

審査委員は、キャンチレバー構造(片持ち梁構造)のカーポートの屋根を支える2本の柱が後方に設置された使いやすい設計であること。屋根形状が現代の住宅建築に自然に融合できるデザイン性であること。強度と耐久性を確保していること。アルミ構造材の使用し軽量化・リサイクル性に配慮するなど、従来のカーポートにはない新しい存在感を放っていることコメント。

セイキ販売

横浜営業所を開設

セイキ販売(廣瀬瀧雄代表取締役)は、10月1日から神奈川県横浜市をテリトリーとする横浜営業所を開設している。東名高速の横浜インターに程近く、国道16号・246号のどちらにも近くアクセスが良い。住所：神奈川県大和市下鶴間2236-2、電話046-271-2100。坂井秀彰所長。

LIXIL

全14商品で「2013年度グッドデザイン賞」受賞

LIXIL(藤森義明社長)は、窓、玄関、エクステリア、設計サポート、キッチン、トイレなど全14商品で「2013年度グッドデザイン賞」を受賞した。

受賞商品—断熱防音インテリア内窓「インプラスウッド」/断熱玄関ドア「ジエスタ」電気錠一体型「S型ハンドル」/断熱玄関ドア「ジエスタ」/キエテクノコート仕様/外付スクリーン「スタイルシェード」/プラスG「スライドルーパー」/「ESHAPE Window + Wood」/「通風・創風設計サポート」/「耐震保証付きスーパーストロンク構造体バリュー」/節水型タンクレストイレ「サティス」Gタイプ/システムバスルーム「キレイユ」/システムキッチン用ガスコンロの「ひろまるコンロ」/浴室用「エコフルシャワー」商品群/キッチン・洗面化粧台・浴室用のシングルレバー混合水栓「エコハンドル」/キッチン・洗面化粧台・浴室用の「お手入れしやすい排水口」等。

# ビルファサード・エントランスの高意匠・高機能化を進めるステンレスサッシ・フロント市場

シャッターメーカー・自動ドアメーカー軸に業界再編、ビルファサード・エントランスを高意匠・高機能化

今年度のビル建材分野は大型物件の竣工が来年度以降になることもあり、前年度比横ばいか微減で推移すると予想される。ただ、来年度に入ると一転して、首都圏を中心とした大型物件の竣工が相次ぎ高い成長が見込まれている。

昨年度(2012年度)は、非居住用建築物の着工床面積が5203万㎡(前年度比9.5%増)と、3年連続で増大した。とくに、ステンレス建具の主力マーケットである事務所612万㎡(5.0%増)、店舗743万㎡(43.0%増)、学校の校舎458万㎡(3.8%増)が伸びた。また、病院・診療所は372万㎡(18.6%減)と減少しているが、中規模病院を軸に手堅い需要があり、依然として自動ドアシステムの受注拡大におおきく貢献している。

ステンレスサッシ・フロント材は、「建物の顔」となる低層部に採用されて、大型オフィスビルや大規模複合商業施設のファサード・エントランスを形成する。ステンレス建具にとどまらず、高級素材を使用したコラムカバー、オーナメント、オブジェなども採用される。

最近の都市再開発にともなう大型プロジェクトでは、難易度の高いファサード設計への対応が求められるために、ステンレス建材メーカーとしての製品開発・加工・施工のトータルな現場対応力が必要とされる。製作面でもオリジナルデザインに対応した熟練した技をもつ専門化集団の存在が不可欠となる。同時に厳しいコスト削減要求に対応したラインづくりも求められる。

こうした専門化集団は、バブル崩壊後の市場縮小にともない三和シャッター工業とナブコシステムを軸に再編成された。現在、ステンレスサッシ・フロント市場は、三和グループ(三和タジマ、三和シャッター工業)と、ナブコグループ(ナブテスコ、ナブコシステム、ナブコドア、オリエント産業)、テラオカグループ(寺岡オートドア、寺岡ファシリティーズ、寺岡オートドアシステム)、文化シャッター(BX紅雲)の4つのグループを中心に形成されている。動く建材を扱うシャッター・

ドアメーカーと自動ドアメーカーが市場をリードする。

2012年度ステンレス建具売上高約230億円・前年度比4.5%増加、自動ドア含むトータル受注も拡大

2012年度非居住用建築物の着工床面積が3年連続で増加したこともあり、ステンレスサッシ・フロント市場は約230億円・前年度比4.5%増と増加した。競合材料であるアルミフロント市場も約408億円・8.9%増と400億円台に回復しており、ビルファサード・エントランス全般にわたり高成長を遂げた。

ステンレスサッシ・フロントの主要なターゲットは、オフィスや大規模商業施設の大型ビル物件とされる。各社の販売傾向をみても、三和タジマは販売全体の70~80%を大型プロジェクトが占める。三和シャッター工業もオフィスや大規模商業施設を含む病院、学校などビル向けが60%を占める。

ナブコシステムは、オフィスや大規模商業施設、病院、学校などのビル向け65%と推定する。自動ドアの販売傾向にトレンドする。同じようにオリエント産業が55%、寺岡オートドアが70%、文化シャッターが65%を占める。

ステンレスサッシ・フロントのトータル受注体制に不可欠なアイテムのひとつが自動ドアシステムである。ナブコグループ、テラオカグループがステンレス建材に取り組む大きな理由だ。

両グループとも、ビル向けの自動ドアに大きな影響力をもっており、大型ビル物件の自動ドアが直接自動ドアメーカーに発注されるケースが増えているという。これは開口部一式受注をめざす自動ドアメーカーのステンレス建材事業を後押しすることにもなる。

この自動ドアシステムを梃子に、ナブコグループ、テラオカグループは、オフィスビル・大規模商業施設にとどまらず、大・中規模病院、大型マンションなどにステンレス建具の需要を掘り起こしてきた。

とくに、病院・医療施設は、エントランスをはじめ手術室、各種の検査室などに様々なタイプの自動ドアのニーズがある。アルミ製自動ドアもあるが、1現場で大量のステンレス製自動ドアが採用される最重要物件のひとつであることに変わりはない。

また、高層マンションも重点分野のひとつといえ

る。1物件あたりの採用数がおおいわけではないが、マンションブームに乗ってステンレス建具の販売全体の20%を占めるほど伸びている。マンションでは、自動ドア以外のセキュリティ対策商品の販売が見込めることも魅力といえる。

「動く建材」を取り扱う三和グループ、ナブコグループ、テラオカグループ、文化がステンレス建具市場をリード

2012年度ステンレス建具の売上高は拡大したが、今年度は横ばい、もしくは微減と予想するメーカーがおおい。大型物件の竣工が来年度以降にずれこむためだ。こうした大型物件工事は、首都圏を中心に当分の間つづくと予測されている。

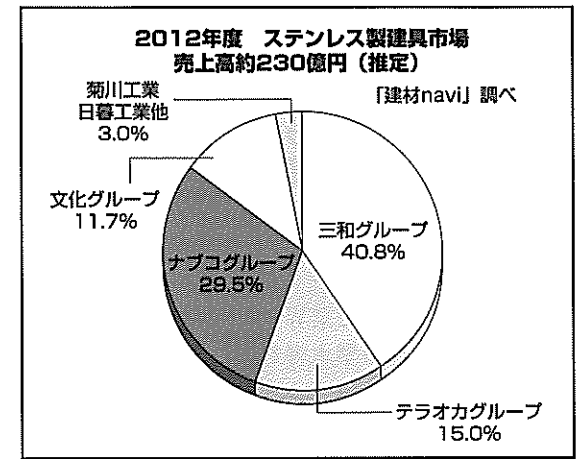
企業別にみると、三和タジマとナブコシステムが売上高約50億円でトップシェアを分け合っている。三和タジマはステンレス建具以外の建具やオーナメント、モニュメントなどを含めると約70億円の売上高で業界をリードする。ナブコシステムは、自動ドアを軸にしたエントランス提案で、オフィスビルや大規模商業施設、病院、大学、ホテルなどで群を抜く実績を積みあげている。

一方、グループ別にみていく。三和グループが約94億円と前年度比8%増と100億円の台に近づいた。ただ、今年度は減収予想で大台の乗せは来年度以降になりそうだ。とりわけ、三和シャッターが自動ドアを含めたトータル受注体制に力を注ぎ、グループの総合力を発揮しつつあることが注目される。

ナブコグループは約68億円と推定される。ナブコシステム、オリエント産業のステンレス製造拠点を中心にした事業展開をする。自動ドア分野での圧倒的な販売力を背景に、大小を問わずあらゆるエントランス工事を受注していることが大きな強みだ。

テラオカグループは約34億5000万円と2ケタ台の成長を達成した。大規模商業施設・病院などの大量の自動ドアシステムを含む大型物件の受注が高成長をささえている。

文化シャッターもBX紅雲を含めて約27億円と増加した。ステンレス建材事業にも、徐々にBX紅雲の統合や不二サッシとの連携の効果が表れつつあるようだ。これらの上位グループに、日暮工業や菊川工業などのステンレス建材専門メーカーが加わり市場を形成している。



ステンレス建具以外の建材製品には、システムキッチン等の住設機器分野、外装パネルや集合住宅用ポスト、手すり、大型引戸・伸縮門扉、大型フェンス、車止め、カーポート等のエクステリア分野に数多く見受けられる。

エクステリア分野では、パブリック向け的大型引戸・伸縮門扉、歩行補助手すり、車止めを品揃えする四国化成工業、LIXILが牽引する。手すりユニットの浅野金属工業、室内用手すりのナカ工業、太陽光発電システム搭載カーポートの菊川工業、集合住宅用ポストの田島メタルワークなど、それぞれのオリジナル製品を市場に投入している。

ステンレス素材を採用する理由は、もっともオーソドックなヘアライン仕上げをはじめ、パイブレーション仕上げ、鏡面仕上げ等で高級感のある建具の製作が出来ることだ。また、美観性だけでなく、高強度・高耐候性を兼ね備えていることもセールスポイント。その仕上げは、競合素材のアルミフロント材でステンカラーが人気になるほど周知されている。

スチール製建材との比較で、意匠性や耐候性に勝っていることは間違いない。唯一、大型メッシュフェンスだけは、スチール製品が依然として市場を席捲している。

さらに、最近ではアルミ製エクステリア商品が、建築基準法に適合した高強度タイプを商品化し、デザイン性とあわせてステンレス製エクステリアとの競争を強めている。アルミ製は高精度な押出部材を活用した商品開発ができる。こうしたアルミ製品にはない質感を持ったステンレス建材の需要開拓が鍵



を握っている。

### 三和シャッター工業／三和タジマ

#### 三和タジマのブランド力を活かし グループ企業の連携した大型プロ ジェクトトータル受注体制を強化

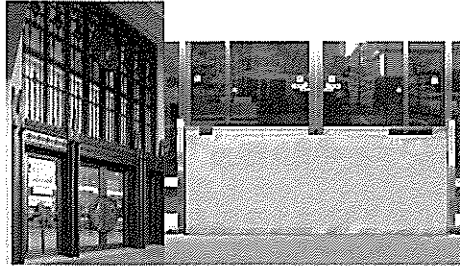
【商品構成】 ■三和タジマ——◆新商品：ステンレス建具一体型止水シート「STウォータープロテクト」（9月新発売した業界初の建具一体型の止水シート。最近の都市型水害対策に最適な商品として提案する。通常時、止水シートは床下に収納されているのでエントランスの美観が損なわれることはなく、集中豪雨や台風時の止水対策では約3分で簡単にセットできることが特長。意匠性を重視するオフィスビルや病院、ブランドショップなどに最適なエントランス用止水シート。止水高さ30・60・100cmの3タイプ。すでに東京・銀座の店舗に設計折込済み。◆ヨーロッパ真鍮押出成型サッシ「ABX」（イタリアASTEC社製。アンティークブロンズ色仕上げの高級建材）。

■三和シャッターのステンレスフロント総称「シティフロント」——◆規格ステンレスフロント「ニューシティフロント」／「セレクト48」（ニューシティフロントから48タイプをセレクトし新築・リニューアルに対応。引き戸はスリムドア・エンジンをセット販売。従来オーダーフロントより25%低価格、標準納期約2週間、角出し1mm残し曲げ加工）／「シティフロントオーダー」（スリムドア・スリムII、制振ドアしずか君、ウォータープロテクト等）／「特定防火設備」／「リフタ」（カウンター向けステンレス製上げ下げ窓。独自技術のスプリングなどの開閉機構で設計耐用回数10万回に向上。防火ダンパーの併設も可能）。

【現況】 トップブランド「三和タジマ」を核にステンレス建材のトップ集団「三和グループ」を形成する。三和シャッターの札幌工場・九州工場、三和タジマの埼玉工場・名古屋工場、吉田製作所（佐久工場）、メタルワーク関西（山南工場）の製造拠点と、三和シャッター・グループ企業の全国ネットワークを連携させたステンレス建材事業を展開する。

三和グループのステンレス建材事業は、成長分野のひとつに位置づけられ、グループ企業の連携を強めることに重点が置かれている。ステンレスをはじめアルミ、ブロンズ、真鍮、チタンなどあらゆる金

三和タジマ・左・伊勢丹新宿本店／右・ステンレス建具一体型止水シート



属製品を扱う三和タジマが高度な加工技術に裏打ちされたオーダー製品、強力な販売網を活用する三和シャッターが主に規格製品のステンレスフロント「シティフロント」を展開する。

三和タジマのブランド力の強さは、大型物件受注に表われている。最近の施工例にみると、東京・「伊勢丹新宿本店正面玄関復元工事」では、キャストブロンズ・ブロンズを特殊塗装（りん酸亜鉛処理）した重厚な重量ドアや面格子が採用された。東京・「ルイヴィトン銀座松屋」ではファサード・内装、名古屋・「エルメス三越」では内装工事を手がけている。大阪・「中之島フェスティバルタワー」ではスチールカーテンウォールを施工した。

いままも進行中の大型物件を多数抱えているが、用途別にみてもオフィスビル・大型商業施設向けは販売全体の7～8割を占める。とくに独創性を求めるファサード・エントランス、内装工事に対応することでブランドイメージを高めている。

一方、三和シャッターは、規格製品を中心に展開する。低価格・短納期の「ニューシティフロントセレクト48」、トータル受注を強めるカウンター向け上げ下げ窓「リフタ」などを新たに投入した。グループ企業と連携した大型物件受注例として、来春開院予定の「愛知医科大学新病院」でステンレス・アルミ製自動ドア300台超をはじめ、病室用自閉式引戸など、多数のステンレス・スチール製建具をトータル受注している。

用途別にみても、病院・福祉施設をはじめビル・大型商業施設向けに60%、中小店舗とマンション向けがそれぞれ20%を占める。商品傾向は、ヘヤライン60%、パイプレーション10%、鏡面10%、その他発色・ブラスト20%の比率。

ステンレス建材のトップ集団として、三和シャッター、三和タジマを中心にグループ企業との連携をはかったトータル受注体制がいちだんと強化されそうだ。

### 寺岡オートドア

#### 業界随一の豊富なバリエーションの 特定防火設備を活かしたステンレス 建具+自動ドアトータル受注に強み

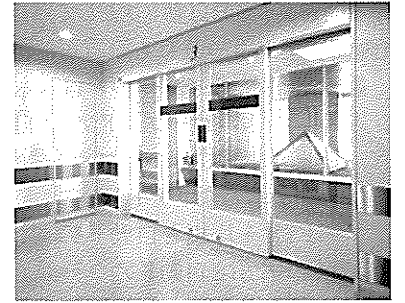
【商品構成】 □重点商品——■ステンレス・スチール製建具の耐熱ガラス入りテラオカ特定防火設備「Fire Door」シリーズ（SUS304の1.5m厚／Stの1.6mm厚）：◆自動防火戸（片引き8mm透明パイロクリアSUS2機種、同6.5mm透明ピランSUS1機種・St1機種／両引き8mm透明パイロクリアSUS1機種、同6.5mm透明ピランSUS1機種・St1機種）。◆手動防火戸（片引き8mm透明パイロクリアSUS1機種、同6.5mm透明ピランSUS1機種／両引き8mm透明パイロクリアSUS1機種、同6.5mm透明ピランSUS1機種）。◆FIX（8mm透明パイロクリアSUS1機種、6.5mm透明ピランSUS1機種）。■「テラオカ防火設備・複合防火設備」：◆耐熱ガラス入り開き戸（片開き・親子開き・両開き）／耐熱ガラス入り鋼製引き自動ドアなどの豊富なバリエーション。

■ステンレス枠扉「スリムセナージ・ドア」シリーズ（省エネ・空調・防音・気密・防犯などの高機能自動ドアに対応。ステンレス枠+8mm厚強化ガラス+省エネシール仕様）：「I型」（縦フレーム見付25mm・A-4等級の高気密タイプ）／「II型」（見付25mmのスリムな意匠）／「III型」（バールガード装着の防犯仕様）／「IV型」（手指の挟まれにくい安全仕様）／「V型」（高さ3m超の大開口に対応、縦フレーム見付20mm）。

■多機能トイレ用自動ドア「MFS-1」：角に丸みをつけ、大きな曲面の表面形状を採用した優しいデザイン。パネル部LEDの発光と音で動作を確認できるスイッチサイン。操作手順・ドアの発光アシスト機能、抗菌塗装、操作音・点字表示などが特長。

■ハンズフリー入退室管理システム「テラオカすいすいスルーS&M」：タグを携帯しドアに近づくだけで自動認証するハンズフリーシステム。「すいすいスルーS」は、ハンズフリーアクセスとタッチアクセスの2つの認証モード。「すいすいスルーM」は、ハンズフリーモード、センサーモード、ボタンモードの3つの認証モード。病院や工場、倉庫など両手がふさがりやすい施設向けや、セキュリティを追求す

寺岡…「耐熱ガラス入りテラオカ特定防火設備」の施工例、業界随一のバリエーションで開口部一式受注活動を強める



るマンション、オフィスビル向けに展開する。

【現況】 寺岡オートドア、寺岡ファシリティーズ、寺岡オートドアシステムを中心に、自動ドア「テラオカ」グループを形成する。ビル用自動ドアのブランド力を活かして、ステンレスサッシ・フロントの「開口部一式」受注活動を展開する。

ステンレスサッシ製造拠点として、札幌、盛岡、新潟、福岡などのグループ企業直営工場をはじめ全国に20箇所の協力工場のネットワークを敷く。ステンレスサッシ・フロントは、耐熱ガラス入り特定防火設備の「Fire Door」シリーズ、ステンレス枠扉「スリムセナージ・ドア」を主力商品に展開する。

ステンレスサッシ・フロントの用途別の販売傾向をみると、ビル・大規模商業施設向け45%、病院・福祉施設など一般ビル向け25%、中小店舗10%、マンション向け10%、その他給食センター向け等10%の販売比率。ビルや病院向けの採用がおおく、大型施工例に佐賀の「佐賀大学医学部付属病院新築工事」（特定防火設備20台を含む自動ドア70台）、相模原の「北里大学病院新築工事」（特定防火設備40台を含む自動ドア400台）などがある。

こうしたステンレス建具+自動ドアシステムのトータル受注に重点をおいた展開をつよめている。とくに、業界随一の特定防火設備のバリエーションを生かした提案力が大きなセールスポイント。

### ナブテスコ

#### 目的に応じて自動ドア位置を自由に レイアウトできる「フリーオープン ドア」、エコ・省エネに効果を発揮

【商品構成】 ■参考出展商品——◆病院向け「スライドグライド」：10月の「HOSPEX」に参考出展した廊下・間仕切用の自動ドア。通常は引戸タイプの自動ドア、ベッドを搬送する時にはフルオープン

する開きタイプの自動ドアとして運用。病院の廊下幅(両側居室 W2700)にも設置可能。

■重点商品——◆エコ・省エネ対応の自動ドアシステム「フリーオープンドア」:自動ドアの位置を目的に応じて自由にレイアウトできることが特長。FIX+引分け自動ドア+FIX/FIX+片引き自動ドア+FIX+片引き自動ドア/片引き自動ドア+FIX2枚+片引き自動ドア。

風除室の場合、内側と外側の自動ドアの位置を変えることによって、風の吹き込み量を少なくすることができる。通行量の多い時には引分け運用、少ない時は片引き運用、あるいは一方通行運用などの状況に応じた使い方が可能。とくに冬場に玄関ドアが開閉するたびに、直接的な風の吹き込みが懸念される病院のエントランスに適している。施工例に大阪府寝屋川市の「生野病院」等がある。

◆「eco ロスカ」:携帯電話の電波を遮らない特殊膜を使用した遮熱強化合わせガラスを採用。赤外線・紫外線カット、防虫効果にすぐれている。食品を扱う店舗などに最適。◆「フラットロスカドア」:2011年度キッズデザイン賞を受賞した安全性に配慮した自動ドア。◆「ロスカドアⅡ型」「ロスカドアⅢ型」「ロスカFIX」など、多彩なバリエーション。

◆「多機能トイレ用自動ドアシステム」:2009年グッドデザイン賞受賞の「HDS-4i押しボタンスイッチ」。青色LED採用の視認性の良い表示灯、和英絵文字・点字・凸記号を併記、直径70mmの大径ボタンなどを採用したユニバーサルデザイン。東京メトロに標準採用されたほか、JR東日本のターミナル駅、私鉄、空港などに採用がすすんでいる。

◆「インテリジェントecoドアシステム」:2012年キッズデザイン賞受賞。通行者の動きを読み取り、ドアを横切る際の不要な開閉を減らし、外気流入量を抑えて室内環境の快適さを保つ最新自動ドアシステム。羽田空港70台をはじめ、大阪・伊丹空港、銀行などに採用されている。

◆「ナブコ防火ドア」(特定防火設備)——◇自動ドアの引き戸:SUS製耐熱強化ガラス8mm厚、引分け4種・片引き6種/同耐熱結晶化ガラス5mm厚・8mm厚、引分け4種・片引き4種/鋼製耐熱強化ガラス8mm厚、引分け4種・片引き6種。◇手動開き戸のSUS製耐熱強化ガラス8mm厚、両開き3種・片開き1種。◇FIXのSUS製耐熱強化ガラス8



ナブコシステム「フリーオープンドア」:ドア位置を自由に切換え風除室を最適活用

mm厚、単窓・2連・3連・4連・5連の各種窓。

【現況】日本国内を中心に米国・中国・欧州の世界4極体制を敷き、グローバル展開する。今年8月には1956年の国産1号機以来、「200万台」を達成したばかりだ。

製造:ナブテスコ(株)住環境カンパニー、販売:ナブコシステム、ナブコドア、オリエント産業の強力なネットワークが、世界No.1自動ドア「ナブコ」ブランドを支える。

「インテリジェントecoドアシステム」の開発にみられるように、自動ドアシステムを構成するセンサーをはじめ、エンジン、ドア、制御システムなどのあらゆる構成部品を自社開発する高い技術力と、全国展開する強力な販売力、保守メンテナンス体制で最新自動ドアシステムの拡大をつづけている。

最近の自動ドアシステムは、節電・省エネ対策をテーマにしているが、「インテリジェントecoドアシステム」をはじめ、「ecoロスカ」、「フリーオープンドア」などを相つぎ発売している。その中の「フリーオープンドア」は、空調効率を高める自動ドアシステムとして病院などに採用をすすめている。こうした病院向けには、ステンレス製自動ドアが採用されるケースがおおく、ビルエントランスと共にステンレス建具の主力市場を形成している。

### ナブコシステム

無線認証システム「らく<sup>2</sup>パス」で各種出入口・エレベーター等の施設全体のセキュリティを統合・管理する

【商品構成】■重点商品——◆ナブコ無線認証システム「らく<sup>2</sup>パス」:複数のキーを持ち歩く煩わしさを解消する最新セキュリティ認証システム。「らく<sup>2</sup>パス」で、エントランスドアや駐車場ゲート、工場入口ドア、セキュリティゲートなど施設全体のセキュリティを統合・管理する。

「らく<sup>2</sup>パス」は、最大幅38×高さ71×厚さ15mm・ボタン電池1個使用のスマートな楕円型。3Dアンテナを内蔵しポケットや鞆に入れても向きを気にすることなく動作可能。システム構成は、無線認証コントローラー、UHF(受信)アンテナ・LF(起動)アンテナ。無線認証コントローラー1台で最大512個の「らく<sup>2</sup>パス」の登録が可能。512個を超える場合、サーバー接続によりシステムの構築が可能。登録・休止・削除などの設定・管理はPCで行なう。

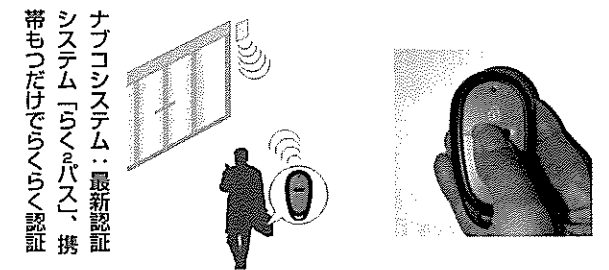
「ブリリア武蔵中原」(玄関・宅配ボックス・エレベーター等)、「ブリリアシティ横浜磯子」(高速ゲートシャッター等)、「エルシティ新浦安」(両開きドア等)などマンションを中心に実績を積みあげている。マンション以外にも、オフィスビルや研究所、工場、公共施設などセキュリティを必要とする建物全般を対象に浸透をすすめる。

■最近の回転ドア施工例——「鎌倉パークホテル」(小型トニケットφ2800)、来年3月開院予定の「昭和大学新豊洲病院」(デュツアφ4800)、「東京ドームホテル」(トニケットφ3400を年内に取付予定)。病院やホテルを中心に引き合いが増えつつあるようで、回転ドア施工のほとんどの物件を受注している。■新ゲートシステム「パスマース」——二重自動ドア扉構造で外気注入量を抑えて、高層ビルなどのドラフト現象を抑制して空調効率の向上をはかると同時に、不正侵入を防止するセキュリティ機能を兼ねた新エントランスシステムとして展開する。

【現況】自動ドア市場における圧倒的な強さを活かして、オフィスや大型商業施設、病院、マンション向けのステンレスサッシ・フロント「NSステンレス」を展開するトップメーカー。北海道の「エヌ・エス・メタル」に宮城の「エヌ・エス・トート」をグループに加え、秋田「リントツ工業」、富山「ヤマシタ」などの多数の協力企業と共に製造ネットワークを強化した。

最近の大型施工例には、東京・京橋の「スクエアガーデン」(オフィスビル)、神田「神田万世橋ビル」(オフィスビル)、大塚「JR大塚駅南口ビル」(商業ビル)、御茶ノ水「御茶ノ水ソラシティー」(オフィスビル)など再開発関連のオフィスビル・大型商業施設の受注がおおい。

販売傾向をみると、オフィスビル・大型商業施設、病院などのビル向け65%を中心に、マンション向け20%、その他中小店舗向け15%の比率。



いずれもステンレス建具だけではなく、省エネ・セキュリティを兼ね備えた自動ドアシステムや最新セキュリティ認証システム「らく<sup>2</sup>パス」などを組み合わせたトータル受注に力を注いでいる。こうした高機能・高付加価値エントランスシステムの商品提案力・施工力が大きなセールスポイントであり、「NSステンレス」のブランド力を支えている。

### オリエント産業

「OSステンレス」を製造拠点に九州圏のステンレス建具市場を牽引、医療・教育施設を軸に大型物件を施工

【現況】ナブコ自動ドアの九州圏の担い手として、公共建築協会のステンレス建具評価認定工場「OSステンレス」(ISO認証取得)を軸に、「オリエントステンレスサッシ」のブランド名でステンレスサッシ・フロント事業を展開する。

徹底した品質管理・製造管理にもとに、あらゆるステンレス建具に対応し、高品質・高性能建具の製作に実績を積みあげている。地元の九州圏を重視する経営姿勢で、難易度の高いオーダー製品は自社工場、一般的なステンレス製品は地元の専門メーカーに外注している。

ステンレス建具の用途別販売割合をみると、病院福祉施設、学校等の一般ビル物件が40%を占める。次にマンション向け20%強、大規模商業施設向け15%、中小店舗向け10%、その他公共用産業施設工場向け10%強の比率。

最近の主な施工例をみても、「九州工業大学」「大分市立南大分小学校」「済生会八幡総合病院」「新中津市民病院」など、医療・教育施設が多いことが特長といえる。

製品的には、特定防火設備のFIX枠・片開き戸・両開き戸・親子戸を品揃えする。自動ドア用のステンレス防護柵「ディフェンスキング」もオリジナル商

品。ステンレス建具は、ヘヤライン仕上げ60%を主力に鏡面仕上げ20%弱、パイブレーション僅少、その他焼付塗装・シート貼りが20%弱を占める。

### 文化シャッター

#### 大開口エントランスに対応するステンレス中空棒「リブレイド」の折込活動強化、天井まで一枚物大型扉に対応

【商品構成】■重点商品——◆オーダー対応「プロドフレーム」(自動ドアではスリムな細枠強化硝子扉をはじめ、気密性を高めるエコフィット、非常時全開システム、R付フロントなどに対応)◆ステンレスの美しさを際立たせるガラスフロント用ステンレス中空棒「リブレイド」(従来のFB棒より約60%軽量化。視認性・透過性・意匠性を重視した大開口に対応。FIX棒・開きドア・自動ドア)◆短納期・低価格な規格フロント「ユニフレーム」(開き戸・引戸・排煙窓・FIX棒等)◆「ステンレス製耐熱強化ガラス入り特定防火設備」(耐熱強化ガラスのパイロクリア仕様。ワイドFIX、片開き・両開き・ランマFIX付きの各種開き戸、片引き・両引き・広開口片引の各種引戸)。

【現況】文化シャッターのステンレス事業は、名古屋・BX紅雲の製造技術力と、同社の営業力を活かしたネットワークを通じて展開されている。主力商品のオーダー対応「プロドフレーム」をBX紅雲、規格フロント「ユニフレーム」を協力工場に対応する体制を構築する。

大開口エントランスに対応する「リブレイド」は、床・天井・壁に見えがかり6mmというシャープな意匠性を実現するロール成形による中空棒。高さ6000mmの大開口エントランス、開き戸DH3300mm・引戸DH3500mmまで可能。来年3月オープンする「羽田空港国際線ターミナルビル増築工事」に採用されたほか、神奈川の「ディーラショップ」のガラス間仕切として施工されている。

文化シャッターのビル建材分野と連携したスペックインに重点をおいた展開。用途別には、オフィスや大型商業施設、病院、福祉施設向けのビル向けが65%、マンション向け30%、その他中小店舗向け5%の販売割合。今後、ビル用シャッター・ドア分野で影響力を活かしたオーダー物を中心にした本格的なステンレスサッシ・フロント事業の展開を進めていく。

### 四国化成工業

#### ステンレスの高級な質感と高耐候性高強度を活かし大型引戸、手すり、車止め等の景観エクステリアに展開

【現況】景観エクステリアのトップメーカーとして、ステンレス製エクステリア商品に取り組んでいる。景観エクステリアでは、デザイン性と強度が同時に求められる商品を中心にステンレス製品の開発が進められてきた。

ただ、最近では通路用シェルター「アーチウェイ」シリーズが、高意匠・高強度の建築基準法に対応したアルミ製アーチウェイに一本化されたように、アルミ製の景観エクステリア商品の開発に重点を移しつつあるようだ。

住宅用カーポートのデザイン性を取り入れる形で開発された「アーチウェイ」が、当初の狙い通りスチール製通路用シェルターのアルミタイプへの転換を、同社の商品開発力で実現したといえる。

いまステンレス製エクステリア商品は、大型引戸、車止め、手すりなどの景観エクステリア商品がある。また、スチール製エクステリア商品には大型メッシュフェンスやサイクルポート、ゴミストッカーの一部に品揃えされている。

主な商品を見ていくと、大型引戸として、複連式引戸「スタックライン」(ステンレス製)、ノンレール先頭台車式引戸「スケータライン」(ステンレス製・スチール製)、台車式引戸「ユニットラインF1型・S1型」(ステンレス製・スチール製)を品揃えする。大型アコーディオンは、ハイセンスなデザインで市場を席捲した「ALX」シリーズに代表されるアルミ製品を主力に展開している。同時にスチール製アコーディオンとして、アール形状の「QL型」「QLC型」「QLE型」、半円形状の「YM型/YL型」、角デザインの「TDA16型/18型」などを受注生産する。大型袖門扉「BSF1型」(スチール製)、「BSS1型」(ステンレス製)も揃える。

ステンレス製手すり「セーフティビームSB型」(φ42.7mm、標準・防護柵・壁付・並列の各タイプ)。また、ステンレス製パイプを応用した「セーフティビームベンチユニット」(P種防護柵)や「セーフティビーム照明ユニット」(12VLED照明)。

さらに、植栽ガード「グリーンホルダーS1型」、

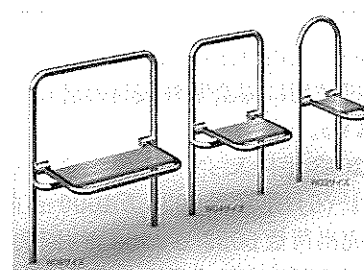
車止め「電動チェーンゲートS1型」、「レコポールS」、「カーストッパー1型」、リーズナブルな価格のステンレスメッシュ「SEMF1F型」などのステンレス製品がある。

一方、スチール製品では、大型メッシュフェンスが代表的な商品。「LMF20型」、「LMF10型」の忍び返し、積雪地仕様、「EMF1F型」、「グリーンシェードフェンスタップ」等。メッシュ関連商品として、「ゴミストッカー」に、メッシュパネルの「LMF10型」(引き戸式・開き戸式)、「EMF型」等も品揃えする。

マンションなどの駐輪場もスチール製品がおおい。通路用シェルターと同様にデザイン性に優れた建築基準法に対応したアルミ製サイクルポートへの転換をすすめる一方、スチール製サイクルポートを品揃えする。

スチール支柱とアルミ・ポリカ屋根の「SSR-Rタイプ」(建築基準法対応)をはじめ、スチール支柱・ガリバリウム鋼板屋根の「BGFタイプ」(耐積雪200cm対応)、「BYFタイプ」、スチール支柱・アルミ屋根の「SNFタイプ」(耐積雪100cm対応)

四国化成工業・ステンレス製手すりの応用商品、手すり「セーフティビームベンチユニット」



／「YCPRタイプ」。スチール支柱・カラー鋼板屋根の「CFLRタイプ」／「BLRタイプ」など多彩なバリエーション。

こうしたスチール製エクステリア商品は、強度面で建築基準法に適合していることや低価格であることが大きな採用に理由になっている。その中でもスチールメッシュフェンスは、デザイン性を兼ね備えたパブリックフェンスとして依然として根強い人気をキープしている。いずれにしても、ステンレス製エクステリア商品は、強度に高耐候性とデザイン性がセールスポイントであり、まだアルミ化が難しい景観配慮型エクステリア商品を中心にした展開が予想される。

### 特集2

## 高意匠・高機能・高耐候の外装材の拡大に取り組む 窯業系外装材／外装タイル／金属サイディング

今年10月から新「省エネルギー基準」が施行された。2020年度までに全ての住宅に対して、省エネ基準への適合を義務付ける方針を示している。今後、省エネ住宅は「認定低炭素住宅」、さらにワンランク上の「ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)」や「ライフ・サイクル・カーボン・マイナス(LCCM)住宅」が目標となる。

こうした高いレベルの省エネ住宅を長期間にわたって、その性能や機能性、意匠性を維持することが住宅用外装材の重要なテーマとされる。住宅用外装材も、スタンダード商品の高品質・高機能化が求められそうだ。

### ——窯業系外装材／外装壁タイル——

ニチハ、ケイミュー、旭トステム  
外装の3社シェア90%を超える  
上半期販売量、前年比7.9%増加

窯業系外装材の業界団体である「日本窯業外装

材協会」の会員会社は、旭トステム外装(主力商品:AT-WALL)、ウベボード(UBボード)、倉敷紡績(クランセリート)、ケイミュー(セラディール、エクセレージ、ネオロック)、神島化学工業(神島防火サイディング、KCセットモール)、昭和電工建材(ラムダ、ラムダブリック)、東レACE(完璧、トレストージ)、ニチハ(モエンサイディングM・W・S、モエンエクセラード)、フクビ化学(フクビセミックサイディング)の9社。

2012暦年(10社分)の生産量は1億0317万2000㎡(前年比5.3%増加)、販売出荷量が98832000㎡(同4.8%増加)と、生産量が2年連続、販売出荷量も3年連続で拡大した。とくに、生産量は4年ぶりに1億㎡の大台を回復している。

2012年度新設住宅着工戸数89万3002戸(前年度比6.2%増)、床面積7941万3000㎡(4.8%増)。居住用床面積から推計すると、窯業系外装材は居住用外装材全体の約80%と推定される。また、全建築物の着工床面積の内、木造床面積5555万

1000㎡、鉄骨造4625万6000㎡を対象にした場合、その外壁占有率は65%となる。鉄骨造に含まれる非居住用に窯業系外装材の潜在的な需要が残されている。

2013年に入ってからの生産量・販売出荷量は、1月～6月生産量5036万1000㎡(前年比1.5%増)、販売出荷量5053万4000㎡(同7.9%増)と拡大基調がつづいた。さらに、いわゆる駆け込み需要が予想された7月～9月は、生産量2784万3000㎡(同4.1%増)、販売出荷量2753万8000㎡(同9.3%増)と2ケタ近い増加を示した。

\* \* \*

高成長がつづく窯業系外装材業界は、すでに駆け込み需要の反動を予想し、その対策に取り組みつつある。窯業系外装材は、その装置産業の性格上、一定の生産量を確保することが必要になる。かつて参入メーカーが20社近くもあった市場がいまの10社程度に再編された要因である。

今後、需要量の減少分を、さらなるシェアアップで補うか、適正な利益の確保に重点をおき、市場縮小に対応した生産体制を再構築し、高機能・高付加価値商品の販売比率をアップするか、あるいは国内の非居住分野や海外に新たな需要を開拓するか——判断が迫られる。

昨年の国内市場をみると、業界トップのニチハはシェア約47%と推定される。すでに市場縮小に備えてシェア50%台は必須の条件とされる。また、ここ数年急速に追い上げているケイミューがシェア約38%と、40%を射程内に捉えている。この2社の勢いは止まる気配はない。

これにつづく旭トステム外装がシェア約13%と推定される。同社は東日本大震災の影響がおおきく、量より質、高付加価値商品の販売比率のアップに舵を切っている。上位3社のシェアは90%超えており、今後もこの状況がつづきそうだ。

窯業系外装材の販売傾向をみると、主力商品は板厚16mm・18mmの中高級品、釘打ち施工のみの14mm普及品の販売量は減少している。

主力商品は、新築当時の意匠性・耐候性・機能性を長期間にわたって維持することをテーマに開発されている。機能面では、高耐候性・セルフクリーニング・防汚機能が付加された商品の拡大を急いでいる。ケイミューが2002年に業界初の光触媒コー

ティング外装材「光セラ」シリーズを新発売した。その後、ニチハが「ナノ親水マイクロガード機能」付商品、旭トステムがセルフフッ素コートとセルフクリーニングの親水機能「セルフクリーニング・防汚機能」付商品を発売した。「セルフフッ素コート」品は業界初の塗膜15年保証品。

また、旭トステム外装は、「きれい壁」を実現する「三辺合いじゃくり・シーリングレス工法」を開発した。1棟全体のシーリングレス化を実現する新工法として普及に乗りだしている。

ケイミューは、汚れの原因であるシールに独自の長耐久・低汚染タイプの「KMEWシール」を使用することで長期間にわたりキレイさを保つことを提案する。

デザイン面では、厚物化による深彫り成形とリアルでかつ繊細に表現できる高度な塗装技術が採用されている。ニチハの「次世代インクジェット塗装」や、ケイミューの「フルカラーセラジェット塗装」などにより意匠性を一段と高めた新商品を投入しつづけている。また、ニチハが2013年度グッドデザイン賞を受賞した「オフセットサイディング」は、環境貢献型の窯業系外装材として注目を浴びている。

一方、外装壁タイルは、耐候性・意匠性にすぐれた最高級の住宅用外装材としてひろく知られている。LIXIL(INAXブランド)は、タイルを引っ掛ける「ベルパーチ工法」、価格を抑えた接着張りの「はるかべ工法」で浸透をはかっている。

窯業系外装材の高級品を意識し、価格対応力をもった「外装壁タイル・はるかべ工法用」として、「HALAGE」「HALPLUS」「HALALL」の各シリーズを発売する。窯業系外装材の高級品を競合商品として、拡大をすすめている。

### ——金属サイディング——

**住宅外装リフォームの主力商品として成長、金属らしさを活かした新デザインで新築需要の拡大狙う**

金属サイディングの業界団体「日本金属サイディング工業会」は、アイジー工業、旭トステム外装、ケイミュー、チューオー、東邦シートフレーム、日新総合建材、淀川製鋼所、YKKAPの8社で構成する。ニチハが7月1日付で子会社・チューオーの販売事

業を統合したことで、窯業系外装材の大手3社は、窯業系外装材と金属サイディングのトータル営業体制を構築した。

金属サイディングは、ほとんどのメーカーが外装リフォーム市場を主力に展開しているが、窯業系外装材メーカーが本格的に乗りだすことで、今後、新築分野での需要拡大も期待できそうだ。

2012年度の生産・出荷実績は、生産1449万2300㎡(前年度比0.3%増)、出荷1470万2340㎡(0.7%増)と、ほぼ横ばいで推移した。

販売実績をみると、アイジー工業がシェア約35%で市場を牽引する。金属サイディングの主力マーケットである東北地域をはじめとした実績に揺るぎがない。同時に、非居住分野にも金属サイディングの浸透に成功している。

これにチューオーが約23%、旭トステム外装が約16%、ケイミューが約8%で続くものと推定される。上位4社のシェアは80%を超えている。4社のシェア競争は今後、一段と熱を帯びてきそうだ。

新築向けとリフォーム向けの販売比率は、アイジー工業とチューオーを除くとほとんどのメーカーはリフォーム向けを主体に展開する。ケイミューをほぼ半々だが、今後は窯業系外装材との併用などを通じて新築向けが拡大するとみている。

デザイン的には、金属らしさを強調したスパン系サイディングを除くと、窯業系外装材と同様にレンガタイル調やストーン調から和風まで幅広く取り揃えている。そうしたデザイン性をたもつクリーニング機能・防汚機能付き商品や高耐候商品が、上位メーカーから発売されている。

また素材面からみると、スチールサイディングがほとんどを占める。100%アルミサイディングを販売するYKKAPを除く各メーカーは、スチールサイディングに特化することになりそうだ。

### アイジー工業

**「ガルスパンシリーズ」販売の30%、メンテ費用を低減する塗膜10年保証「ガルスパン NEO-J フッ素」拡販**

【最近の動き】大ヒット商品の「ガルスパン」シリーズを主力に金属サイディングの全国展開をリードするトップメーカー。競合商品である窯業系外装材に劣らないデザイン性を追及して、金属ならではの

シャープなラインの「ガルスパン ZEROJ」、ブリック・ストーン調の「ガルバロック i」、シンプル&モダン対応の「ガルフィーユ i」などの各シリーズに新商品を投入している。

今年の新商品である「ガルフィーユモード i」の「ヒカリス柄」は、カラー鋼板の光沢を生かし立体感を特徴にする金属サイディングならではのデザイン。また「ガルフィーユ SLIM i」の「ブレンダスタ柄」は、従来の金属サイディングでは表現できなかった繊細な質感と斬新さをセールスポイントにしている。こうした金属サイディングを知り尽くしたハイレベルの新商品開発力と、長年にわたって築き上げた「ブランド力」で業界を牽引している。

販売傾向をみていく。主力商品は、「ガルスパン」シリーズで、販売全体の30%を占める。とくに、「ガルスパン NEO-J フッ素」の販売に力を注いでいる。遮熱効果をプラスしたフッ素樹脂塗装(塗膜10年保証)を採用したもので、メンテナンス費用の低減化を実現できることが特長。

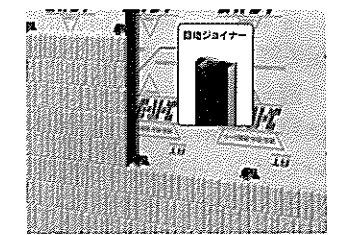
金属サイディングは、リフォーム向けを主力にするメーカーが多い中でアイジーは、新築向け70%を主体に展開する。とくに東北地域においては群を抜く知名度と実績を誇っている。また、同社の強みのひとつとされる非住宅向けの販売比率は販売全体の20%。今後、リフォーム市場のさらなる開拓と西日本市場への浸透をテーマに、金属サイディングのポジションアップを進めていく。

### 旭トステム外装

**「AT WALL ガーディナル」、三辺合いじゃくり工法と専用施工部材を組み合わせて「きれいな壁」を実現**

【最近の動き】LIXILグループの住宅用外装材事業の中核企業であり、業界を代表する外装材メーカー。窯業系外装材「AT WALL」、金属サイディング「Dan SIDING」を主力商品に展開する。

「AT WALL」の最上位機種「AT WALL ガーディナル」は、三辺合いじゃくり工法の「S-WALL neo」





と専用施工部材「カンシキくん」を組み合わせ、美観と耐久性を兼ね備え、同社のコンセプト“きれいな壁”を実現する。

「S-WALL neo」は、AGC 旭硝子のフッ素樹脂「ルミフロン」を使用した塗膜 15 年保証「セルフフッ素コート」採用していることが大きなセールスポイント。「カンシキくん」は、本体接合部、出入隅部、窓まわり部など 1 棟全体のシーリングレス化を可能した新工法。シーリングレス化によるメリットは、シーリング材の耐久年数を気にせず定期メンテナンスを行ない、その費用を約 30% も抑えることが可能と試算する。

また、親水機能によるセルフクリーニング機能では、塗膜 15 年保証「セルフフッ素コート」と 10 年保証「セルクリンコート」の 2 タイプ。「セルフフッ素コート」には、セルフクリーニング機能に加えて防藻・防カビ機能が付加されている。

同じように金属サイディングにも、金属サイディングとしては初めて塗膜 10 年保証「セルクリンコート」品を投入した。「セルクリンコート・ライト」品を含めたセルフクリーニング機能付き外壁材として 23 柄 70 機種を品揃えする。

■窯業系外装材——◆新商品：窯業系外装材「AT WALL ガーディナル」：「15VZ シリーズ」に新柄「ニューグレイスタイルVZ」「フォルタナVZ」「ニューストラノ VZ」を追加。「18VZ」「15VZ」2 シリーズ合計 19 柄 58 品種。「AT-WALL エモーネデュオ SF/SX」。◆販売傾向：主力商品は塗膜 15 年保証「セルフフッ素コート」の「AT-WALL15Y/15YF」と、同 10 年保証「セルクリンコート」の「AT-WALL15X/15XF」で販売全体の約 7 割を占める。高級品を「AT WALL ガーディナル」と塗膜 15 年保証「セルフフッ素コート」品に限定すると、販売比率は 40% 弱に達する。こうした高付加価値・高機能外装材に軸足を置いた商品開発、営業展開を進めている。

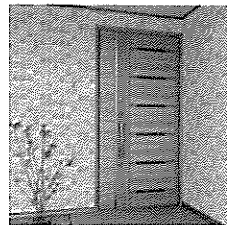
■金属サイディング——◆販売傾向：窯業系外装材と同様に高意匠・高機能商品の拡大に力をつけている。主力商品でもあるセルフクリーニング機能付き商品は、超深絞り 4 シリーズ・深絞り 19 シリーズを品揃えする。主力商品は、単色を含む深絞りシリーズで販売全体の約 40% を占める。戸建住宅向けに窯業系外装材のデザインを取り入れたものを主力にしており、いわゆるスパン系デザインは 15% 程度とさほど多くない。また、住宅向けと非住宅向け

は 8 対 2。新築とリフォームの販売比率は 4 対 6 と推定される。

## ケイミュー

### 「光セラ」「親水セラ」の高機能とフルカラーセラジェット塗装の高意匠性をセールスポイントに高級品を拡大

【最近の動き】 窯業系外装材をはじめ金属サイディング、屋根材、雨といをトータルに展開する住宅用外装材のリーディングメーカー。2002 年に業界初のセルフクリーニング外壁材として開発・発売した「光セラシリーズ」は、窯業系外装材の高耐候性・高機能化を実現した最高グレード商品。



高耐候性・親水性・汚れ分解・大気浄化機能を有する「光セラ」シリーズ（無機系光触媒コート＋セラミックコート）は、「ネオロック・光セラ 18/16 セラトピア」「エクセレージ・光セラ 15 Pixcer」「ネオロック・光セラ 18/16」「エクセレージ・光セラ 15」の各シリーズで構成する。

さらに、高機能外装材として、高耐候性・親水機能の「親水セラ」（無機系親水コート＋セラミックコート）の各シリーズ。高耐候性・親水機能を持たせた「親水パワーコート」（無機系親水コート＋パワーコート）の各シリーズ。高耐候性の「パワーコート」の各シリーズ。これらのシリーズは、「スーパーKMEW シール」（長耐久・低汚染タイプ）を使用し、外装全体の高耐候性、メンテナンス費用の軽減を実現していることもセールスポイント。

■窯業系外装材——◆新商品：エクセレージ・光 15 Pixcer/エクセレージ・親水セラ 15 Pixcer「リフル」（フルカラーセラジェット塗装のキューブ柄）/ネオロック・親水セラ 18「ハーモレイド」（深彫りで天然石の素材感や風合いを表現）/エクセレージ 15・パワーコート「スクラッチクロス」等の新柄。今春には、ネオロック・光セラ 16 セラトピア「カンピオ Pixcer」（フルカラーセラジェット塗装の大理石・石英石・濃色タイル・窯変タイル・窯変レンガの各柄）/ネオロック・親水セラ 16「ガルス トーン」（中割石積み柄）等を新発売した。

◆販売傾向：主力商品は、ネオロック・親水セラ 18/16、エクセレージ・親水セラ 15 の「親水セラ」の各シリーズ。自然素材の質感を実現するフルカラーセラジェット塗装を採用した最高グレードの「光セラ」シリーズを含む高級品の販売拡大に重点を置く。

■金属サイディング——◆新商品：はる・一番デザインシリーズ 16「斜石柄」（細かな石を切り落としたような自然な風合いを金属サイディングに再現。単色ながらランダムな石の凹凸パターンで見える角度によって様ざまな表情をみせる）。◆販売傾向：ケイミューへの生産移管後の初の新商品「斜石柄」がヒット商品となった。窯業系外装材のノウハウが活かされたもので、第 2・第 3 の新商品開発をすすめる。また、アルミ製品は 3 月末に生産を終了した。新築とリフォームの販売比率は 50 対 50 と推定している。新築向けが業界平均に比べておおいことが特長のひとつ。窯業系外装材と金属サイディングを組み合わせたトータルな外壁提案を展開する。

## ニチハ

### 国産材の有効活用貢献する窯業系外装材「オフセットサイディング」で 2013 年度グッドデザイン賞を受賞

【最近の動き】 窯業系外装材のトップメーカーとして、「モエンサイディング-M・W」の名古屋工場を主力に、「モエンエクセラード」の「いわき工場」「下関工場」、製造子会社・ニチハマテックスの習志野・衣浦工場、高萩ニチハの高萩工場、八代ニチハの本社工場などの製造ネットワークを構築する。また、グローバル化に対応して、米・ジョージア州メーコン市、中国・浙江省嘉興市に海外生産拠点を置く。

金属サイディングについても、7 月 1 日付で完全子会社・チューオーの販売部門を統合し、住宅の新築・リフォーム分野、非住宅分野におけるトータルな外装材の商品開発・拡販体制を一段と強化した。

あらゆる住宅スタイルに対応した業界随一の商品構成力をほこり、高耐候・高機能・環境貢献型商品の普及に力をそそぐ。高耐候・高機能商品には、セルフクリーニング機能、防藻・防カビ機能の「ナ

ノ親水マイクロガード」仕様品、塗膜 10 年保証の「ハイパーコート」仕上げ品を揃える。

また、昨年環境配慮型商品として、業界初の遮熱機能付き外壁材「ソルガード」を発売した。さらに、2013 年度グッドデザイン賞を受賞した住宅・非住宅向け窯業系外装材「オフセットサイディング」は、製材後に排出される端材や背板を木材チップにして有効活用すると共に、廃棄されるまでの期間、炭素を貯蔵し環境負荷軽減に貢献する。「オフセットサイディング」は、林野庁が推進する「木材利用ポイント事業」における外装木質化工事の建築材料に認定された（国産チップを原材料とするモエンエクセラード・モエンサイディング W の一部商品）。こうした廃材や端材などの有効活用はニチハの出発点と位置づけられ、ニチハモエン端材回収リサイクルシステムを構築している。

■窯業系外装材——◆初夏の新商品：「モエンエクセラード 16」に i-cube シリーズ・オペリアシリーズ 4 柄 21 品種。「モエンサイディング-M・W」に 7 柄 40 品種。◆販売傾向：主力商品は、16mm の「モエンエクセラード」の石柄・木目柄。また、高級品の「オフセットサイディング」は、2013 年グッドデザイン賞を受賞した最重点商品。すでに、2012 年グッドデザイン賞受賞の「モエンエクセラード 16 キャスティングウッド」をはじめ、最高グレードの厚さ 21mm の「風光」、次世代インクジェットの「モエンエクセラード 18」「モエンエクセラード 16」、厚さ 35mm の「モエンアートエコアートプラス」「モエンアート LS」「モエンアート」など豊富なバリエーションを誇る。これらの高級品は販売全体の 40% を占めているが、今後とも窯業系外装材の品質・意匠性の高さを示す高級品を主力に展開する。

■金属サイディング——◆重点商品：塗膜変褪色 10 年保証対応、マイクロガードによるクリーニング・防汚機能の標準化をすすめる。「i シリーズ」は、ナノ親水マイクロガード、高耐候コーティングを採用し、フルカラーインクジェット塗装による高い意匠性が特長。マイクロガード仕様は、「F 型塗り壁」「FB 型影光」等にも採用。

主力商品は、細石組柄「FB 型影光」。販売全体の 20% を占める。住宅向けと非住宅向けは 85 対 15 の比率。また、新築向け 75%、リフォーム向け 25% と、新築向けがおおいことはブランド力の強



さを表している。今後、高付加価値商品の充実に力を注いでいく考え。

## LIXIL (INAX ブランド)

### やきものならではの温もりと上質感をもつ「はるかべ工法用」の二丁掛タイプ「HALAGE」シリーズを新発売

【最近の動き】 最高級の住宅外装材である外装壁タイル(はるかべ工法用)と乾式外装壁タイル「ベルパーチ」、タイルリフォーム「リタイル」(タイルラップ工法)を展開する。



乾式外装壁タイル「ベルパーチ」は、タイル乾式施工のパイオニア商品。ベースサイディングにタイルを引っ掛けて張る工法。厚さ27mmの「ベルパーチテッセラ」(ブリックタイプ)から厚さ14mmのスタンダード品「ベルニュース」(ブリックタイプ)まで豊富なバリエーション。トラディショナルなレンガ調をはじめ、古レンガ調、ハツリ調、くしびき調など多彩なテクスチャーを品揃えする。

リーズナブルな価格で住宅用外装タイルを提案することを目的に開発されたのが「外装壁タイル(はるかべ工法用)」。やきものならではの温もりをもつオーソドックスな形状の「HALAGE」、外壁にアクセントを与える高意匠の「HALPLUS」、全面張りに最適な「HALALL」の各シリーズ。

新シリーズ「HALAGE」は、二丁掛タイプで同社の「ナノ親水」基準を満たした高耐久性の接着剤張り工法の外装壁タイル。オーソドックスな「アイビス」や古レンガ調の「ジオクラシコⅢ」、岩肌面の「ストーク」など4商品のバリエーション。

INAXブランドの「マイクロガード」加工タイルは、タイル表面が汚れ物質よりも水になじみやすい性質を利用したもので、シリコーン系シーリング材からの溶出成分「都市型汚れ」を雨水と一緒に洗い流す効果がある。タイルはもともと紫外線につよい無機質セラミックスを素材にしており、40年相当を経過しても色あせがない高耐候性や、キズにつよい高硬度、酸・アルカリにつよいことが特長。20年を経過しても新築時の美しさを保ち、メンテナンス費用を

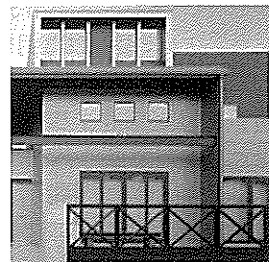
大幅に削減できることをセールスポイントに、住宅用外装材市場の一翼を形成意する。

新商品「HALAGE」シリーズは、やきものらしいオーソドックスな形状。全面張りの「HALALL」シリーズは、ボーダーやスクエアのシンプルでモダンな形状。アクセント張りの「HALPLUS」シリーズは、光の陰影を強調する表面形状が特長。

## YKK AP

### アルミ外装材「アルカペール」、住宅外装リフォーム向けに浸透、高級品の「モダン」「深絞り」シリーズを拡販

【最近の動き】 アルミ外装材「アルカペール」を住宅・非住宅向けに全国展開する。スチールサイディングを主力商品とする金属サイディング市場の中で唯一、アルミサイディングに絞っている。



アルミサイディングは、1㎡あたり1.9kgの軽量さや耐震性、施工性、高耐候性などをセールスポイントに浸透を図っている。販売傾向をみると、住宅向け96%・非住宅向け4%、リフォーム向け80%・新築向け20%の比率。住宅外装リフォーム市場でのアルミサイディングの拡大に取り組む。

フッ素塗膜保証10年保証品の「モダンシリーズ」(ラインパークスパン、ラインパーク)をはじめ、原板10年保証品の「深絞りシリーズ」、「ハイスタンダードシリーズ」、「スタンダードシリーズ」の商品構成。主力商品は、「フレス」「ロンド」等の「ハイスタンダードシリーズ」、タテ張りスタック柄等の「スタンダードシリーズ」で、販売全体の70%を占める。

「恵石」「きらめき」「ピクストーン」等の「深絞りシリーズ」が20%、「モダンシリーズ」が10%の販売割合。

高級グレードの「モダンシリーズ」は、V溝の角波スパン「ラインパークスパン」を発売。「深絞りシリーズ」の「恵石」「きらめき」「ピクストーン」などはマトル塗装品。こうした高級グレード商品の販売拡大と非住宅分野への更なる浸透がめざしている。

## 【新商品・新技術情報】 / 業界の動き

### 三協アルミ

建築家とのコラボレーション事業「SACLAB」(通称: サクラボ) 発足「新しい境界」とエクステリアデザインについて考察——成果を発表



三協立山株式会社・三協立山アルミ社(蒲原彰三社長)は、建築家の視点を取り入れた新しいアルミ建材の開発を目的にした、建築家とのコラボレーション事業「SACLAB」(通称: サクラボ)を発足、そのプロジェクト活動成果の発表会を10月21日、東京・六本木の「アクシズビル」で開催した。今春スタートした「SACLAB」(Sankyo Alumi Creative Laboratory)は、建築家と共に新しい住空間を考えるラボラトリーで、今年は都市・環境・建築における新しい価値やデザイン、人との関係性の模索していく。今年「新しい境界」とエクステリアデザインについて考察、その成果を来春のエクステリア新商品開発に具体化させる計画。

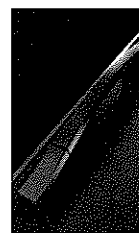
今回、成果発表されたエクステリアデザインのタイトルは、東京大学大学院・千葉学建築計画事務所の千葉学氏「RING RING」、トラフ建築設計事務所の鈴野浩一氏と禿真哉氏「Air Block」、永山祐子建築設計の永山祐子氏「mermaid」「Flower block」、納谷建築設計事務所の納谷学氏・納谷新氏「Kaede」「mom」、マウントフジアーキテクトスタジオの原田真宏氏・原田麻魚氏「-2.6℃」の5組の作品。

### LIXIL

電気錠一体型「S型ハンドル」を中級品の断熱玄関ドア「ジェスタ」に採用

LIXIL(藤森義明社長)は、玄関ドアの中級価格帯の主力商品である断熱玄関ドア「ジェスタ」に、電気錠一体型「S型ハンドル」を採用し10月1日から発売を開始した。

「S型ハンドル」は、シリンダー、ハンドル、電気錠を一体化したすっきりとしたデザイン。フラッグシップモデルの断熱玄関ドア「アヴァントス」で好評を得ている。「CAZAS+」(電池式)、「タッチキー」(電池式)、「システムキー」(AC100V)の3つのキースタイルから選択できる。安全面のオリジナル設計として、室



内サムターンを床から120cmの位置に設定し幼児が一人で外に出ることを防ぐようにしている。断熱玄関ドア「ジェスタ」全47デザインに採用。ハンドル価格は、室内外同色6万円・室内側木目調5万5000円。

### YKK AP

「スマートコントロールキー」標準搭載のリフォームドア「リフォームスマートドア ヴェナートRD」を発売

YKK AP(堀秀充社長)は、新世代ドアキーシステム「スマートコントロールキー」を標準搭載したリフォームドア「リフォームスマートドア ヴェナートRD」を追加発売した。

「スマートドア」は、電気錠機能をすべてドアハンドル部に内蔵したデザイン性と防犯性にすぐれた次世代型玄関ドア。「ピタットKey」(カードタイプ、シールタイプ)、「ポケットKey」の2つ。

新築向けのデザインと共通化し、従来の約3倍のバリエーションを揃える。断熱D2仕様とD3仕様。カバー工法により工事は1日の簡単施工。参考価格は、親子・D3仕様・ピタットKey、W1235×H2330mmで62万7900円。

### ニチハ

故濱本晴市氏のお別れの会を開催



ニチハ(山中龍夫社長)は10月17日、東京・パレスホテル東京で、去る9月7日で永眠した同社特別顧問(元会長・社長)の濱本晴市氏の「お別れの会」

を執り行い、故人を偲び全国から約350人が参列した。故人は、昭和52年12月に住友銀行本店支配人から日本ハードボード工業(現ニチハ)社長に就任した。就任後、主力商品の「モエンサイディングM・W」、高級外壁材「モエンエクセラード」の製造・販売に卓越した経営手腕を発揮し、工場新設など積極的な設備投資で業容拡大を果たした同社の「中興の祖」と称えられている。平成5年6月同社代表取締役会長、11年6月相談役、18年10月特別顧問、享年87歳。